

CITY THEATRICAL

NEW YORK • LONDON

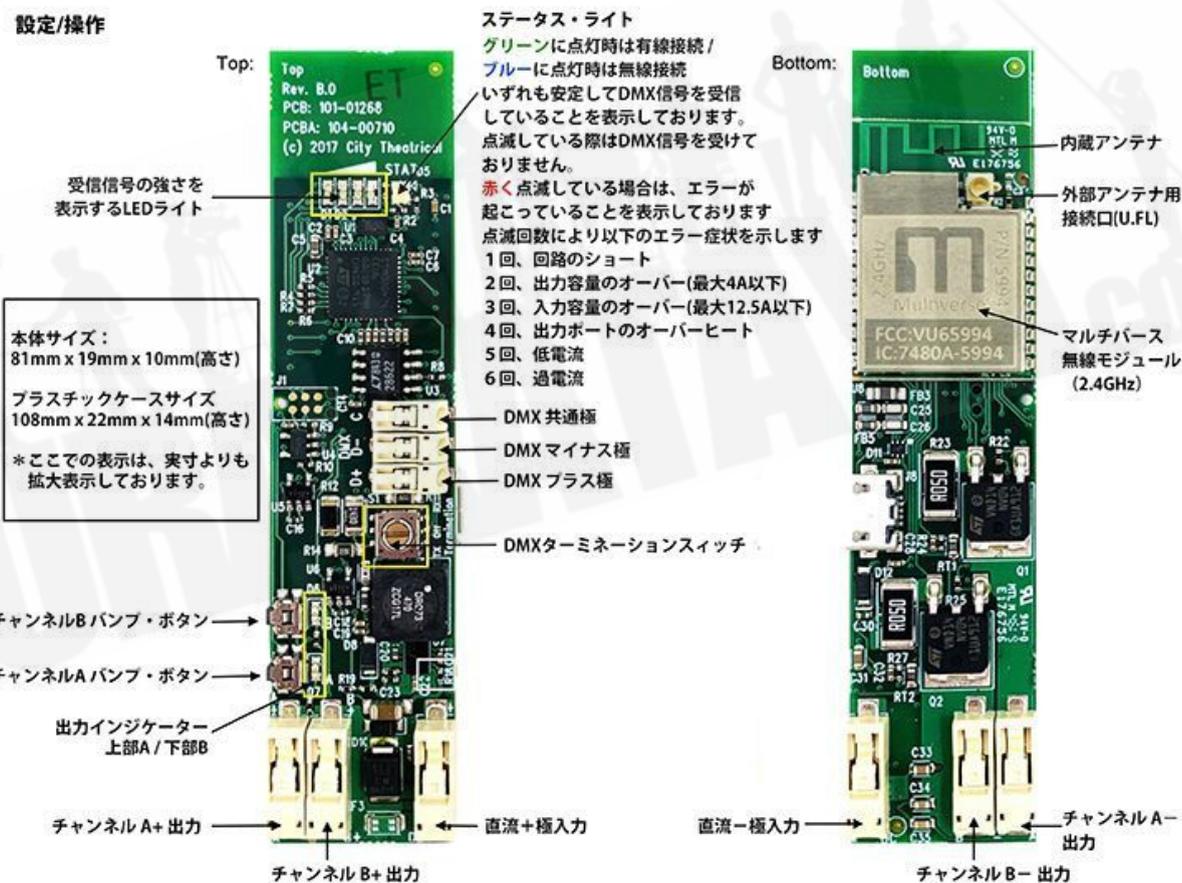
ワイヤレスDMX 超小型調光ユニット マルチバース QolorFLEX 2x2.5A

P/N 5916

クイックスタートガイド

03/15/2019

設定/操作



マルチバース製品は米国特許#7,432,803,B2, #10,129,964 B1をはじめ
その他特許権に保護されています。設計・製造はアメリカ合衆国です。

ご紹介

Qolor FLEX 2x2.5A 2.4GHz マルチバースDimmerは、5v-30vの直流電流に対応した無線制御による調光機器です。入力電流は出力ポートの接続された灯体の必要条件を満たした電流をご使用ください。

お客様の電源供給機器の直流+、-の両極を、本製品の入力ターミナルポート（本体のPWR +、-の両極に接続してください。

灯体側の+極を、本製品の出力ポートの+側、灯体側の-極を本製品の出力ポートのA,B側にそれぞれ接続してください。



注意：ラッチ付コネクタの中へ、ラッチ部分を押すことなくケーブルを挿入してください。ラッチ部分を押すことで、ケーブルを外すことができます。

本体にあるA、B、各所のバンプ・ボタンにより、正しくDMX接続されているかをテストすることができます。

ターミネーション・スイッチの設定

- ON-FOR ALL WIRELESS USE：ターミネーション機能有効
- OFF：その他のDMX機器や有線接続された調光機器もDMXスルー接続されている場合にはOFFにしてください。
- ON WIRED：本製品がそのDMXスルー接続における末端の機器である場合に選択してください。



★設定時の重要事項！★

本製品は出荷時の初期設定として、“有線”モードになっており、RDMを使用した際もこのモードからのスタートとなります。その為、ステータス・ライトはグリーンに点灯いたしますが、無線モードはブルー、接続が確認されない場合は赤に点灯いたします。

有線モードに戻る場合は、全ての設定を出荷時と同様の「初期設定」に戻す必要があります。その場合は、AとBのバンプ・ボタンを5秒間同時に押していただき、STATUSとSIGNAL QUALITYライトが点滅したことを確信してください。

出荷時の初期設定

DMXタブ

- ・ RDM Traffic Enable（RDM機能：有効）
- ・ DMX Port Label; Label（DMXラベル機能：ラベル）ユニバース 1
- ・ DMXアドレス 1
- ・ DMX Personality 8ビット（5チャンネル）

Dimmer/調光タブ

- ・ Mump Buttons Enable (バンプ・ボタン : 有効)
- ・ Apply to All : No
- ・ Device Label: Default Dim 1 Label (灯体ラベル : Dim 1)
- ・ Curve Logarithmic (LED) 調光カーブ
- ・ Output Response Time 100ms Ramp Time (出力反応速度 100ms)
- ・ Modulation Frequency 5000Hz-LED (周波数変調 5000Hz)
- ・ Control Offset 0

マルチバース・タブ

- ・ DMX 入力モード 有線
- ・ SHoW ID 24250
- ・ アンテナ選択 Omni
- ・ 出力パワー 最大
- ・ SHoW Key 0

DMX Fail Modeについて

- ・ Hold last look before changing to a level : Infinite
(値に変更がない限り、その前に受けた値を保持 : 無限値)
- ・ Hold level before blacking out: Infinite
(受信信号を失った場合、暗転せずに前に受けた値を保持 : 無限値)

設定

RDM機能を使用し有線による接続をする場合 :

XLR5Mコネクター(オス側)から先バラ(メス側)の状態のケーブルを、本体(5916)のDMXターミナルに接続してください。その際、極性を間違わないように注意してください。 XLR Pin 1=共通極、Pin2=DMX-極、Pin3=DMX+極。

City Theatrical社によるDMX CatをはじめとするRDM制御機器を使用することができます。その際、RDMにより"5916"を検知してください。

DMXタブ

- RDM機能の有効/無効を、灯体側や制御機器側で切り替えることができます。
- Set DMX Port Label : DMXポートのラベル機能(設定した名前から選択していただけます。)
- Set Universe : ユニバースの設定 (DMXの送信機と5943の間で同一のユニバースナンバーを使用してください)
- Set DMX : DMXアドレスの設定
- Set DMX Personality: DMX解像度 (8ビット/16ビット)

Dimmer/調光タブ

- バンプ・ボタンの有効/無効を設定できます。
- “Apply to All”を選択することで、5つのポート全てを調光機能に切り替えることができます。



注意：“Apply to All”はその他全ての設定変更をする前に設定してください。

- Set Device label：灯体へのラベル機能(設定した名前から選択していただけます。)
- Select Dimmer Curve：お好みの調光カーブに設定していただけます。
- Select Output Response Time：スムーズな調光を実現するために、信号に対し調光機能が反応する時間を調整することができます。
- Modulation Frequency：調光時のパルス周波数を設定することができ、様々な機器への干渉や、テレビ撮影時のカメラシャッターへ対応するためにフリッカーフリーに設定することができます。
- Set Control Offset：大変低い値でのフェードをする場合、各信号の値を調整する必要がある場合があります。例えばグリーン、ブルーの回路よりも赤の回路のみ速く点灯してしまう場合、グリーン、ブルーの回路に対し、最低値を0よりも少し上げて設定しておくことで、点灯し始めを綺麗に揃えることができます。
- オフセットは-32,768、+32,767の範囲で設定することができます。まずは全て100の値からスタートし、徐々に調整していくことをお勧めします。

各種設定後、DMXアドレスを設定し、お使いのシステムへと適合します。

RDM機能を使用し無線による接続を行う場合：

XLR5Mコネクタ(オス側)から先バラ(メス側)の状態のケーブルを、本体(5916)のDMXターミナルに接続してください。その際、極性を間違わないように注意してください。 XLR Pin 1=共通極、Pin2=DMX-極、Pin3=DMX+極。

City Theatrical社によるDMX CatをはじめとするRDM制御機器を使用することができます。

初期設定からスタートする場合、本体は有線モードになっているため、グリーンのライトが点滅いたします。

RDM機能を利用し、“5916”を検知してください。

DMXタブ

RDM機能の有効/無効を、灯体側や制御機器側で切り替えることができます。

Set DMX Port Label：DMXポートのラベル機能(設定した名前から選択していただけます。)

Set Universe：ユニバースの設定 (DMXの送信機と5943の間で同一のユニバースナンバーを使用してください)

Set DMX：DMXアドレスの設定

Set DMX Personality: DMX解像度 (8ビット/16ビット)

Dimmer/調光タブ

- バンプ・ボタンの有効/無効を設定できます。
- “Apply to All”を選択することで、5つのポート全てを調光機能に切り替えることができます。



注意：“Apply to All”はその他全ての設定変更をする前に設定してください。

- Set Device label：灯体へのラベル機能(設定した名前から選択していただけます。)
- Select Dimmer Curve：お好みの調光カーブに設定していただけます。
- Select Output Response Time：スムーズな調光を実現するために、信号に対し調光機能が反応する時間を調整することができます。
- Modulation Frequency：調光時のパルス周波数を設定することができ、様々な機器への干渉や、テレビ撮影時のカメラシャッターへ対応するためにフリッカーフリーに設定することができます。
- Set Control Offset：大変低い値でのフェードをする場合、各信号の値を調整する必要がある場合があります。例えばグリーン、ブルーの回路よりも赤の回路のみ速く点灯してしまう場合、グリーン、ブルーの回路に対し、最低値を0よりも少し上げて設定しておくことで、点灯し始めを綺麗に揃えることができます。
- オフセットは-32,768、+32,767の範囲で設定することができます。まずは全て100の値からスタートし、徐々に調整していくことをお勧めします。

マルチバース・タブ

(DMX inputモード設定は各種設定後に行います。)

- Select SHoW ID (お客様がお使いの送信機と2.4HGzによるSHoW IDを一致させてください。)
- Select Antenna Setting：初期設定であるOmniアンテナを使用しない場合、内蔵のアンテナ (Internal) や、Panel, Yagiを使用する場合は設定を行ってください。
- Select Output Power：初期設定はMAXになっておりますが、その他の値Low, Medium, Highを使用する場合は、設定を行ってください。
- Choose a SHoW Key：SHoW Key設定が必要な際に行ってください。



注意：ユニバースやSHoW ID、SHoW Keyは送信機と5916の間で一致するよう設定してください。

・以上の設定後、初期設定である有線モードから無線モードに切り替えてください。

切り替えた際、5916を制御できなくなりますが、これは本製品が無線制御対応になったからであり、ブルーのステータス・ライトが点滅ははじめ、DMXを無線受信していないことを表示いたします。お客様の送信機からDMXが無線送信され、本製品が受信を開始すると、ブルーのステータス・ライトの点滅は終わり、そのままブルーに点灯いたします。

送信機とSHoW ID, SHoW Key, ユニバースなどが全て一致した段階で、本製品が機能しはじめます。



注意：RDMを使用して、無線機能を使用中の5916を認識する場合、送信機側でもRDM機能を有効にする必要があります。

本製品をはじめとする、City Theatrical社製のUSE接続を使用した有線/無線機能を持つ機器を使用する場合：

City Theatrical社のウェブサイト内にあります5916のページから、City Theatrical社製USB Configuratorのダウンロードを行ってください。その後そのソフトウェアをお使いのパソコン (Mac/PC)にインストールしていただくことで、5943とお客様のパソコンをUSB-マイクロUSBで接続することができます。

USB Configuratorのプログラム内にあるシリアルポートタブからお客様が使用している機器のシリアルポートを選択してください。その後、RDM機器から行う操作（上記と同様）をパソコン上から行うことができます。

エラー表示

点滅回数により、以下の症状をお伝えします。

- 1回、回路のショート
- 2回、出力容量のオーバー(最大4A以下)
- 3回、入力容量のオーバー(最大12.5A以下)
- 4回、出力ポートのオーバーヒート
- 5回、低電流
- 6回、過電流